



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 東邦亜鉛株式会社

コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手島 達也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 今井 通弘

TEL 03-3272-5614

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	79,466	2.9	772	△89.4	26	△99.6	△463	—
23年3月期第3四半期	77,237	29.6	7,282	4.8	7,301	1.2	8,089	109.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 971百万円 (△84.4%) 23年3月期第3四半期 6,243百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△3.41	—
23年3月期第3四半期	59.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	142,695	60,117	42.1
23年3月期	141,007	60,096	42.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 60,117百万円 23年3月期 60,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	△1.6	2,300	△72.9	1,400	△84.0	500	△93.4	3.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	135,855,217 株	23年3月期	135,855,217 株
24年3月期3Q	55,951 株	23年3月期	55,228 株
24年3月期3Q	135,799,679 株	23年3月期3Q	135,801,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、欧州の債務危機等を背景に海外景気が下振れし記録的な円高が進行するなど、不透明な状況が続いております。

当社グループも、震災に伴い亜鉛系 2 工場(安中製錬所及び小名浜製錬所)が被災し一時的に操業を停止したことにより減産を余儀なくされましたが、被害の大きかった小名浜製錬所も 6 月には操業を再開することができました。

事業環境につきましては、収益に大きなマイナスの影響を及ぼす円高が長期化するとともに、LME(ロンドン金属取引所)相場は亜鉛、鉛とも弱含みで推移し9月後半にかけてそれぞれ2,000ドルの大台を割り込むに至りました。一方、販売量は亜鉛製品が震災に伴う減産及び需要減により大幅に落ち込んだものの、震災の影響を受けなかった鉛及び銀製品は堅調に推移しほぼ前年同期並となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、前年度第3四半期から連結子会社となったCBH Resources Ltd.(豪州の鉱山会社、以下「CBH社」という。)の業績が、当第3四半期連結累計期間を通して加わったことなどもあり、売上高は794億66百万円と前年同期比3%の増収となりました。しかしながら、営業利益は減産や販売減及び円高の進行に加え、LME相場下落に伴い、たな卸資産の在庫評価損の実現や低価法評価損失が発生したことにより、7億72百万円と前年同期比89%の大幅な減益となりました。また、経常利益は円高による外貨建貸付金の為替評価損失が発生したことにより26百万円と前年同期に比べ大幅な減益となりました。さらに、四半期純損益は震災に伴う特別損失の発生や税率変更による繰延税金資産の取り崩しもあり463百万円の損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製錬事業部門

当事業部門は、前述のとおり亜鉛製品が震災による減産及び需要減のため販売は振るわなかったものの、鉛及び銀製品が堅調に推移し、売上高は574億4百万円と前年同期比3%の増収となりました。一方、営業損益は震災に伴う減産や販売減及び円高の進行に加え、LME相場下落に伴い、たな卸資産の在庫評価損の実現や低価法評価損失が発生したことにより、8億60百万円の損失(前年同期は47億62百万円の利益)となりました。

② 資源事業部門

当事業部門は、連結子会社のCBH社が一時エンデバー鉱山での小規模なトラブル発生により生産・出荷数量が減少したため計画を下回る水準で推移し、売上高は50億52百万円(前年同期比174%の増収。ただし、前年同期は3ヵ月間の売上高)となりました。一方、営業損益は鉱業権等・のれんの償却負担もあり5百万円の損失(前年同期は1億65百万円の損失)となりました。

③ 電子部材事業部門

当事業部門は、電解鉄の販売が引き続き堅調に推移したものの、電子部品の落ち込みが大きく、売上高は54億57百万円と前年同期比13%の減収、営業利益も6億63百万円と前年同期比16%の減益となりました。

④ 環境・リサイクル事業部門

当事業部門は、前述のとおり主力製品の酸化亜鉛の生産拠点である小名浜製錬所が震災により一時操業を停止したため生産と販売が大幅に落ち込み、売上高は20億1百万円と前年同期比48%の大幅な減収、営業利益も1億64百万円と前年同期比80%の大幅な減益となりました。

⑤ その他事業部門

当事業部門は、防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業が引き続き堅調に推移し、売上高は95億50百万円とほぼ前年同期並、営業利益は10億63百万円と前年同期比5%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億87百万円増加し、1,426億95百万円となりました。これは、主として、鉱業権の減少があったものの、たな卸資産や有形固定資産が増加したことに

よるものであります。

負債については、長期借入金が増加したものの、未払法人税等や流動負債その他に含まれているデリバティブ債務等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ16億67百万円減少し、825億78百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、繰延ヘッジ損益等のその他の包括利益累計額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、601億17百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は42.1%となり、当第3四半期連結会計期間末において0.5ポイント下降しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、非鉄金属価格・為替相場の動向等の先行きが不透明であり、予断を許さない状況にあります。

以上の状況を勘案して、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、前回公表(平成23年11月9日)の予想を据え置くことといたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,739	13,360
受取手形及び売掛金	16,746	15,221
たな卸資産	27,867	30,129
その他	4,727	6,845
貸倒引当金	△24	△18
流動資産合計	62,055	65,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,883	9,313
機械装置及び運搬具(純額)	12,699	21,155
土地	16,946	16,946
建設仮勘定	7,954	659
その他(純額)	413	518
有形固定資産合計	45,898	48,594
無形固定資産		
のれん	571	484
鉱業権	24,433	21,577
その他	77	78
無形固定資産合計	25,082	22,140
投資その他の資産		
投資有価証券	5,074	4,290
その他	3,678	2,917
貸倒引当金	△781	△785
投資その他の資産合計	7,970	6,422
固定資産合計	78,952	77,158
資産合計	141,007	142,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,321	6,519
短期借入金	22,509	22,478
1年内返済予定の長期借入金	2,760	3,791
コマーシャル・ペーパー	2,000	2,000
未払法人税等	1,906	387
引当金	626	192
その他	13,932	7,415
流動負債合計	51,056	42,783
固定負債		
長期借入金	17,086	28,563
退職給付引当金	2,669	2,494
その他の引当金	373	363
資産除去債務	763	722
再評価に係る繰延税金負債	5,779	5,061
その他	3,181	2,590
固定負債合計	29,854	39,794
負債合計	80,911	82,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	27,748	26,334
自己株式	△23	△23
株主資本合計	52,232	50,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899	492
繰延ヘッジ損益	△2,371	1,004
土地再評価差額金	7,572	8,290
為替換算調整勘定	1,763	△489
その他の包括利益累計額合計	7,864	9,298
純資産合計	60,096	60,117
負債純資産合計	141,007	142,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	77,237	79,466
売上原価	64,787	72,942
売上総利益	12,449	6,523
販売費及び一般管理費	5,167	5,750
営業利益	7,282	772
営業外収益		
受取利息	155	106
受取配当金	76	82
為替差益	629	—
デリバティブ評価益	—	139
その他	113	182
営業外収益合計	974	511
営業外費用		
支払利息	566	346
持分法による投資損失	153	—
為替差損	—	803
その他	235	107
営業外費用合計	955	1,257
経常利益	7,301	26
特別利益		
段階取得に係る差益	2,266	—
固定資産売却益	13	2
鉱業権売却益	—	1,035
投資有価証券償還益	3,213	—
その他	15	152
特別利益合計	5,508	1,190
特別損失		
固定資産除却損	223	196
災害による損失	—	763
その他	12	12
特別損失合計	236	972
税金等調整前四半期純利益	12,574	244
法人税、住民税及び事業税	2,410	332
法人税等調整額	2,073	375
法人税等合計	4,484	707
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	8,089	△463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,089	△463

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	8,089	△463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,710	△406
繰延ヘッジ損益	△2,211	3,375
土地再評価差額金	—	718
為替換算調整勘定	1,434	△2,252
持分法適用会社に対する持分相当額	640	—
その他の包括利益合計	△1,846	1,434
四半期包括利益	6,243	971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,243	971
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

東邦亜鉛(株) (5707) 平成24年3月期第3四半期決算短信

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部 材	環境・ リサイ クル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	55,712	1,842	6,238	3,828	67,622	9,614	77,237	—	77,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,742	1,537	171	1	4,453	4,468	8,921	△8,921	—
計	58,455	3,379	6,410	3,830	72,076	14,083	86,159	△8,921	77,237
セグメント利益又は損 失(△)	4,762	△165	793	815	6,206	1,017	7,223	59	7,282

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額59百万円には、セグメント間取引消去279百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△220百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部 材	環境・ リサイ クル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	57,404	5,052	5,457	2,001	69,916	9,550	79,466	—	79,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,220	2,483	87	1	4,792	4,230	9,023	△9,023	—
計	59,624	7,536	5,545	2,002	74,709	13,781	88,490	△9,023	79,466
セグメント利益又は損 失(△)	△860	△5	663	164	△37	1,063	1,025	△252	772

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△252百万円には、セグメント間取引消去△167百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△85百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、「製錬」、「電子部材」及び「環境・リサイクル」の3つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、CBH Resources Ltd.の完全子会社化に伴い、CBH Resources Ltd.を基礎として構成された「資源」を新たな報告セグメントとして追加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報
 (1) 連結売上高

期別 品名	前第3四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年12月31日〕			当第3四半期連結累計期間 〔自平成23年4月1日〕 〔至平成23年12月31日〕			前連結会計年度 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成23年3月31日〕		
	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %
亜鉛製品	t 98,218	20,708	26.8	t 74,793	14,669	18.5	t 127,370	27,283	26.3
鉛製品	t 71,903	15,422	20.0	t 71,363	15,496	19.5	t 94,069	20,901	20.2
電気銀	Kg 264,444	15,711	20.3	Kg 251,963	23,053	29.0	Kg 347,807	22,701	21.9
硫酸	t 188,133	1,060	1.4	t 173,625	1,036	1.3	t 246,782	1,398	1.4
電子部品		3,062	4.0		2,308	2.9		3,890	3.8
電子材料等		3,364	4.4		3,248	4.1		4,471	4.3
酸化亜鉛		2,258	2.9		970	1.2		2,875	2.8
廃棄物処理		1,574	2.0		1,033	1.3		1,978	1.9
防音建材		1,378	1.8		1,541	1.9		1,874	1.8
完成工事高		2,458	3.2		3,120	3.9		4,279	4.1
その他		10,238	13.3		12,988	16.3		11,974	11.5
合計		77,237	100.0		79,466	100.0		103,628	100.0